

Rotary



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



ロータリーは機会の扉を開く

◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 岩本 正樹

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1246 回	58 名	57 名	50 名	—	87.72%
前々回 1244 回	57 名	56 名	50 名	1 名	91.07%

●点 鐘

●ロータリーソング われらの生業

●高山中央ロータリークラブ 職業倫理基準

●ゲスト・ビジターの紹介

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様

●会長の時間

会長 村瀬 祐治

本日は濃飛グループガバナー補佐大森清雄 AG に訪問して頂きました。

本来ですと、6 月引継ぎ・7 月第 2 例会訪問予定でしたが、コロナウイルス感染防止のため初めての訪問となります。

宜しくお願いします。本日例会でご挨拶を頂き、例会終了後クラブ協議会を開催いたします。役員 9 名の方は参加をお願いします。

① 8 月 19 日 インターアクト益田清風高等学校へ訪問いたしました。

出席者は、下呂 RC : 森本会長・成瀬幹事・前担当委員長、益田清風高等学校 : 今井校長・顧問先生、高山中央 RC : 村瀬会長・岡崎幹事・下田 I A 委員長で、時間は 20 分程度、内容は、ほとんどが青少年交換についてでした。部員 10 名で今期の計画は未定。年次大会・韓国派遣・飛騨地区合同研修会が中止となり、例年ですと 125,000 円・今年は 25,000 円をスポンサー協賛金として支払いました。

② 平塚湘南 RC 杉崎さんから電話連絡

2020 年 3 月 12 日創立 30 周年記念式典中止となった旨の連絡ありました。今期の交流事業は、原平塚湘南 RC 会長とはコロナウイルス蔓延防止のため交流は控えると 7 月に合意済みです。

③ 例会においては、メンバーの呼び方は、〇〇さんと呼ぶように統一をお願いいたします。

④ 本日の例会は職業奉仕担当例会です。

3 月 4 月 5 月と例会が新生コロナウイルス感染防止のため休会でした。また開催しても感染を防ぐためソーシャルデスタンス距離での例会開催、メンバー間での交流がすくなくなっており、特に新入会員の 6 名と交流する時間が取れなくなっております。今期は、職業奉仕担当委員会 4 例会を担当して頂きます。メンバーの皆様に職業奉仕を通じての卓話頂き、より深い情報交換場となるように進めて参ります。

●幹事報告 幹事 岡崎 壮男

◎高山ライオンズクラブより

・高山 5 クラブ & 国際ソロプチミスト高山親睦ゴルフコンペのご案内
日時 : 10 月 25 日 (日)

10 : 02 スタート

場所 : 飛騨高山カントリークラブ

参加費 : 8,000 円

表彰式 : ひだホテルプラザ 18 : 00

●ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第2630地区

濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄様



皆さんこんにちは。
今年度、濃飛グループ
アシスタントガバナー
を仰せつかりました
下呂ロータリークラブ
大森清雄と申します。

まずは高山中央ロータリークラブ様には下呂市益田清風高校インターアクトクラブにご協賛をいただいておりますことに感謝申し上げます。この事業については当時大保木会長と坂之上幹事に何度も下呂に足を運んでいただき実現したものでした。私も当時幹事をしており、お世話になりました。

私ですが株式会社大清という会社を営んでおります。公共事業を中心として受注を請ける建設業と木材・燃料チップを運ぶ運送業を中心に事業を展開しております。

最近、下呂市小坂町内の国道41号線豪雨災害により崩落した道路を、昼夜を問わず復旧に向けて作業を行いました。昼夜を問わない過酷な労働を伴う仕事でしたが、自分の会社が頑張ることでその仕事を通じて地域に、そして多くの方々に喜んでいただける。これが職業奉仕であると強く感じ、より深くそのことを理解しながら仕事ができ、ロータリアンでよかったと心より思うことが出来ました。

さて、今年度の濃飛グループの予定について説明させていただきます。

AGの各クラブの訪問については、コロナの影響もあり期首の第一回目の訪問は中止とさせていただきます。第二回目は各クラブの活動方針等を伺うクラブ協議会に訪問させていただきます。本日グループ内で、その初日にあたります。例会後、役員さんから説明を伺う予定になっています。三回目はガバナーの公式訪問でしたがこれもコロナの影響で中止といたしました。下呂ロータリークラブだけは唯一単独で公式訪問を受けておりますので先週ガバナーに来ていただき公式訪問という形をとらせていただきました。第4回目は期末の来年6月に行く予定ですので、私がお後皆さんにお会いするのは来年の6月になりそうです。

次にGTMですがこれも中止とさせていただきます。今回のGTMはガバナーの意向に基づきクラブ研修リーダーの主導により各クラブで研修を行って頂き、その成果を発表する場とす

るつもりでした。GTMは中止しますが、その研修は実行していただき、年が明けてからその成果を紙面にて報告いただき、取りまとめたものを濃飛グループ各クラブに配布報告という形にしたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。

高山中央ロータリークラブさんは連続してRI会長賞を受賞され、ガバナーを4年前と今回と2回輩出される等とても活動的なクラブという印象がございます。

この後の役員会にて計画やご意見などをしっかりお聞きしたいと思っています。お世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

●職業奉仕委員会

委員長 熊崎 元康



本年度は会長の意向も踏まえ会員スピーチを企画しました。本日は、入会して間もない3名の方にお願ひしました。

<会員スピーチ>

高原 龍士



今年度より入会させて頂きました高原龍士です。どうぞ宜しくお願い致します。

十年前くらいになるかと思いますが例会に私と中田学さんと島さん

のご子息の宗平さんと呼んでいただき仕事のことなどお話をさせて頂いたことがありました。すごく緊張した記憶しかなくて何を話したかも覚えておりませんが今回また機会を頂いてお話をさせて頂けることに感謝しております。

私は現在、高原建機という会社で解体工事業をメインとして営んでおります。今日この場には出席しておりませんが、父が立ち上げた会社を引き継いで2代目としてやらせていただいております。

思えば、私が小学生のころ父とお風呂に入っていたらいきなり、父ちゃん商売やろうと思うんやけどいいか？と言われ、子供のくせにいいと思うよ！なんて言った記憶があります。

その日から35年が経ちました。私自身も24年くらいは一緒に仕事をしてきてなんとか会社もここまでやってきましたが、起業を決意し

ここまで引っ張ってくれた父の想いを受け継いでさらに頑張っていこうと思っております。ロータリーメンバーの皆様にも親子共々可愛がっていただけたら嬉しく思っておりますので今後とも宜しくお願い致します。

今日は私が営んでおります解体業について少しだけお話させていただきます。

昔はとび・土工工事業に含まれる工作物の解体という中途半端な立ち位置の業種でしたが平成28年6月1日より新たに解体工事業として国に認めて頂きました。500万円未満の解体工事では必要ないですが解体工事業を営む者については原則許可が必要だとされております。

それに伴い国土交通省管轄の国家資格で解体工事施工技士という作業に従ずる作業員が主任技術者になることができる資格制度もできました。

今までは、建物をぶっこわす！だけのイメージだったものがここ近年の法改正で管理的、技術的なものを求められる業種に成長したのだと確信しております。

工事内容も大きく変わって、昔はなんでもかんでもいらないものをついでに捨ててくれよー！みたいなやりとりがありました。ここ近年ではそれもできなくなりました。

お客様から、解体するまでにどうすればいいのか！どこまでかたずけておけばいいのか？という問い合わせがよくあります。現段階では一般廃棄物と産業廃棄物というように言葉が分けられましたが一般廃棄物というのはご家庭で使っているもの。布団だとかソファだとか衣類とか。畳も一般廃棄物に属しました。産業廃棄物とは建物内部になにもない状態で解体をした廃棄物を産業廃棄物といいます。

近年では解体工事業に使用するダンプトラックは産業廃棄物しか運搬できなくなりもし一般廃棄物を産業廃棄物運搬車に乗せた場合は罰せられるようになりました。

お客様が解体前のかたずけをされる場合、ご自身で清掃工場に持ち込んでいただくか、一般廃棄物処理を運搬してくださる専門業者に依頼していただくかの2択しかなくなりました。お客様に対して処理をやってあげられないという心苦しい時もありますが、決められたことなので納得して頂いています。

ほかにも建設リサイクル法だとか家電リサイクル法という処理的な法案が打ち出されました。大変な時代になったものです。

建物に使用されている建材にも法的処置が取られるようになりました。昔、建物を造られた

際にはアスベストという人体に有害とされるものが使われておりました。鉄骨造建築物に主に使われましたが石綿というもので鉄骨躯体に吹き付けるものです。

1956年ごろから1975年くらいまで使用されていて当時は安価なものだったらしく耐火、断熱、防音の目的で使用されましたが石綿によってばく露するということがあり使用禁止になりました。

ここ近年では石綿を使用されていた建物を解体する場合は建物を仮設で覆ってしまい密閉空間の中、外部に飛散しないようにして専門業者が石綿を撤去し、監督署などのチェックを受けすべて除去したのち建物を解体できるようになります。工事の費用も時間もかかりますが必ず行わなければなりません。

石綿を微量に使用している建材もあります。壁材、床材、軒天、天井に使われているケースは多いですが、現在は解体する前に建材を採取し検査機関に分析をしてもらい石綿の有無を鑑定し、結果の内容で作業方針を決め作業に取り掛かり、適正に処理をして工事を進めています。

まだ他にも決められたことや、やらなければいけないことがたくさんありますが、解体業界もしっかりやってるんだということをご話させていただいたことに感謝しておりますし、少しでもご理解いただけたら良かったと思っております。



奈木 尚美

株式会社グッドプラスの奈木と申します。諸先輩方の前では、未熟な私でお恥ずかしいばかりですが、私なりに一生懸命、歩んできた道をお話

させていただきます。現在、本町2丁目でCOWCOW ヨーグルトという飛驒の牛乳を使った自家製ヨーグルト専門店を営んでおります。2年前には、建築部門を立ち上げ一般住宅の新築、増改築などをさせていただいております。ここで必ずご質問いただくのが、なぜ飲食と建築なのか？私は、高校3年までごく普通に教師の娘として、平凡に生活してきました。そして、養護教諭を目指して、進学を考えていた矢先、母が突然、脳血栓で倒れました。当時母は52歳です。命は取り留めたものの、左半身不随の車いす生活を余儀なくされました。

当時は介護保険も無く、各サービスもないため、頼る人もおらず、自宅で24時間つきっきりでトイレや入浴、食事など生活すべての介護をしてきました。母が若かったため、いつまでこの生活が続くのかと落胆する毎日の中で、一生の内、せめて2年間だけは自分だけのことを考えて生きれる時間をくださいと懇願し、病院に預かっていただいて、名古屋の短大に行くことができ、養護教諭の免許を取得する事はできました。しかし、職場に身をおく仕事では、母の介護はできないので営業という選択をしました。

しかし、介護してるから業績が伸びないとか、仕事してるから家事ができないとか言い訳をすることが自分で許せず、毎日母を助手席に乗せ、両立をめざして頑張りました。今思えば、1日3時間くらいの睡眠で、たいした病気にもならず、最期まで母を看とることができたことに感謝しています。30年程そんな生活が続き、5年前母が他界しました。健康と一言で、くくってしまうには余りにも奥深すぎますが、まずは、日常の食生活から健康維持のお手伝いをしようと考えました。老若男女問わず、毎日食べても飽きず、美味しく楽しく健康維持ができるものと思い近年話題になっている乳酸菌が摂れて、地元にも少しでも貢献できるよう食材も飛騨の牛乳を使えるヨーグルトを思いつきました。野菜の栄養の素晴らしさも知り、野菜ソムリエの資格もとりました。そして、ようやく形になり、自分の思いが商品を通して、お客様に伝わるようになってきたところで、住環境からも健康維持のお手伝いをしようと、健康住宅アドバイザーの資格をとり、健康を維持できる家づくりを日々模索中です。会社の名前《グッドプラス》と名付けたのは、良い事をプラスするという意味合いです。今の自分を形成してきたのは、「生きる」ということに対してたくさんの壁を与えていただいたからだと思っています。そこで、自分の周りの大切な方々が《健康》でいられるために、私に何が出来るかを考えました。私が経験してきた仕事は、配置薬の販売業、アパレル業、リース業、広告業、建設業。母の状況に応じて転職してきました。20代の頃は、なんで私ばかりがこんな苦勞しなくてはならないのかと卑屈になる時期もありましたが、自分が起業して初めて点と点がつながって線になったと強く感じました。今まで経験してきた事、今まで知り合った方々が、今の自分と会社を応援してくださって全

てのことが今に繋がっている。

無駄なことがひとつもなかったと気づかされ、背筋がピンと張る感覚を覚えたことを覚えてます。自分1人では出来ることは小さいですが、経験した事、出会ったご縁、全てを活かしてこれからもお役にたてる会社として邁進していきたいと思えます。

どうぞ今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



葛谷 嘉久

皆さんこんにちは！
内科の葛谷です。今日は職業奉仕の観点からと自己紹介も兼ねお話を頂戴いたしましたので、お話をしたいと思います。私は今年1月に高山中央ロータリークラブ

に入会いたしまして、すぐにコロナで休会になりました。ですので、まだ正直に言いますと、まだ皆様の顔と名前が一致していません、また皆様にとっても同じかと思えますので、この機会に知っておただければと思います。私は内科で開業してまして、専門は消化器内科です。消化器内科と言いますと、胃カメラをする科ですが、最近是一般内科の色が強くなってきます。一般内科と言いますと、高血圧や糖尿病、高コレステロール血症、アレルギーや風邪が流行れば診療をするのですが、俗に言う、何でも診る科、なんでも内科の様なスタイルの診療になってきています。このように患者さんを通して健康管理をし、また職業奉仕として高山市民の健康管理をしていると思っております。

また、午後の時間などは、高山市医師会を通して事業を行っております。

具体的には、老人ホームの嘱託医、南風園や向陽園。学校医としまして、日枝中や城山保育園。産業医として飛騨総合庁舎や特別支援学校。警察とも連携による死体検案当番。高山市休日診療。4月からは3歳児検診も受け持つことになりました。正に老若男女を診ており、なんでも内科のように高山市民の健康管理をしていると思っております。

また、コロナの問題も避けて通れない事として、高山市医師会として、ドライブスルー方式のPCR検査センターを開設して、実際に防護服を着て、検体採取をしています。コロナ関連の事業は今後また、していかなければならないと

思います。また今回コロナの件についても少しお話をしたいと思います。コロナの事は分からない事も多々ありますが、最近では分かっている事も大分、出てきました。分からない事は、現在の感染状態ですが、今の感染者は、軽症の方が非常に多いと言うことです。中には、ウイルスが弱毒化したのでは？と仰る方もいるのですが、そもそも、呼吸器系のウイルスはインフルエンザや他のコロナウイルスを含めて夏場、弱くなるというのが一般的です。

やはり医療現場としては、人の免疫力が低下する冬場が怖いというのが一般的な考えです。

また、コロナウイルスとインフルエンザの比較をする方もいるのですが、東京都の6月末の時点の年代別の死亡率は、50代で1.8%、80代で30%以上という数字が出ています。これはやはりインフルエンザにはない確率でして、インパクトのある事だと思っております。感染経路に関して言いますと、感染は唾液を介した飛沫感染が主体であり、また、息を荒くするような行為がリスクを伴うと事が分かってきました。

皆様も自分置き換えて、感染経路を理解すれば、自ずと自己防衛になると思っております。

また、折角の機会ですので、この様な場でコロナ関連や医療の情報提供をさせて頂ければと思っております。

では、皆様、今後とも、何卒よろしくお願い致します。

<ニコニコ BOX>

本日はよろしくお願ひ致します。

濃飛グループガバナー補佐 大森 清雄 様

大森清雄ガバナー補佐様のご来訪を歓迎致します。本日は卓話並びにクラブ協議会をよろしくお願ひ致します。
理事役員一同

大森清雄ガバナー補佐様のご来訪を歓迎致します。本日は色々ご指導をよろしくお願ひ致します。
岡崎 壮男

大森AGのご来訪を歓迎申し上げます。今年度ご活躍をご祈念申し上げます。

清水 幸平

大森清雄ガバナー補佐様のご来訪を歓迎致します。同期で会長・幹事を務めさせて頂きましたが、色々課題が多い中、一緒にいい形で対応頂きました。心から感謝しています。

また、先般の小坂の41号線復旧工事は、大森さんの会社が携われたとの事。感動の「ありがとうエール交換」感動しました。

大保木 正博 / 坂之上 健一

岐阜県農政部より工事表彰の案内が届きました。この工事は現場が豪雨災害で崩れて一年近く延期された大変な工事でした。現場担当の苦労が報われました。
高橋 厚生

サマージャンボが当選しましたので、当選金の三分の一気持ちだけニコニコへ。
高木 純

この暑い中ゴルフは危険で、もう少し涼しくなったらゴルフ会の案内を出しますので多数のご参加をお願い致します。
植木 眞吾

